

2019年（平成31年）1月23日 第7回今後のがん研究のあり方に関する有識者会議

- がん研究のこれまでの経緯と支援状況
- 中間評価の議論の進め方
- 「具体的研究事項」の議論①

2019年（平成31年）2月21日 第8回今後のがん研究のあり方に関する有識者会議

- 「具体的研究事項」の議論②
- 「横断的事項」の議論

2019年（平成31年）3月8日 第9回今後のがん研究のあり方に関する有識者会議

- 報告書（案）について

2019年（平成31年）3月～4月

報告書の公表



報告書を踏まえ、「がん研究10か年戦略」の後半期間が始まる
2019年度（平成31年度）以降の研究を支援していく

「がん研究10か年戦略」の中間評価の議論の進め方

- がん研究全体として、概ね順調に進捗している。
- 10か年戦略の枠組みである8つの柱(「具体的研究事項」)については維持し、第3期がん対策推進基本計画で「取り組むべき施策」への対応を含め、各柱毎に現状の課題と後半期間で取り組むべき研究の方向性について、議論することをもって中間評価とする。
- また、シーズの探索的研究、ゲノム医療や免疫療法などの新たな治療法に係る研究といった各柱にまたがる研究については、「横断的事項」として議論する。

(1) がんの本態解明に関する研究

(2) アンメットメディカルニーズに応える新規薬剤開発に関する研究

(3) 患者に優しい新規医療技術開発に関する研究

(4) 新たな標準治療を創るための研究

(5) ライフステージやがんの特性に着目した重点研究領域

(小児がん・高齢者のがん・希少がん・難治性がんに関する研究)

(6) がんの予防法や早期発見手法に関する研究

(7) 充実したサバイバーシップを実現する社会の構築をめざした研究

(8) がん対策の効果的な推進と評価に関する研究

横断的事項

(シーズ探索、ゲノム医療、免疫療法、リキッドバイオプシー、AI等の新たな科学技術の利活用、基盤整備など)